

一般社団法人 日本森林学会 2014(平成26)年度事業計画

- (1)「日本森林学会誌」の発行:2014年4月,6月,8月,10月,12月および2015年2月の年6回発行するとともに,科学技術振興機構のJ-STAGEで公開する。また,第97巻の表紙写真を公募・選定する。
- (2)「Journal of Forest Research」の発行:2014年4月,6月,8月,10月,12月および2015年2月の6回発行する。
- (3)「森林科学」の発行:2014年6月,10月および2015年2月の年3回発行する。
- (4)「日本森林学会メールマガジン」の発行:第44号(2014年3月)~第55号(2015年2月)を発行する。
- (5)ウェブサイトの更新:出版物・表彰等の情報を随時掲載する。
- (6)第125回日本森林学会大会の開催:2014年3月26~30日に埼玉県さいたま市(大宮ソニックシティ)において第125回日本森林学会大会を開催し,「第125回日本森林学会学術講演集」を発行する。
- (7)第126回日本森林学会大会の開催準備:第126回日本森林学会大会(2015年3月26~29日:北海道大学)の開催を準備する。また,ウェブ登録システムによる大会参加・発表申込み等の受付をウェブサイトで行う。
- (8)第127回日本森林学会大会の開催準備:日本大学に所属する会員の中から大会運営委員長を委嘱し,大会運営委員会を設置する。
- (9)第128回日本森林学会大会の開催準備:九州森林学会に共催および大会担当機関の推薦を依頼する。
- (10)日本森林学会各賞の選考および日本農学賞等への推薦:日本森林学会賞,日本森林学会奨励賞,日本森林学会学生奨励賞,日本森林学会功績賞,Journal of Forest Research 論文賞,日本森林学会誌論文賞,第125回日本森林学会大会学生ポスター賞の選考,および日本農学賞,日本農学進歩賞等への推薦を行う。
- (11)学会活動の活性化:会員拡大,ウェブサイトやメールマガジン等による広報活動,および連携学会・他学会・外部機関との連携強化を通じて,学会活動の活性化に努める。
- (12)社会への広報活動:第125回日本森林学会大会における100周年記念国際シンポジウムの記録をウェブサイト等で公開する。
- (13)男女共同参画の取り組み:男女共同参画学協会連絡会の活動に参加して情報収集するとともに,学会のウェブサイトやメールマガジン等を通して情報提供に努める。第126回日本森林学会大会における男女共同参画関連の企画を行う。
- (14)JABEE(日本技術者教育認定機構)への協力:JAFEE(森林・自然環境技術者教育会)の基幹的な学会として,JABEEやJAFEEの活動・運営に協力するとともに,関連学協会との連携を図ることにより,森林分野の技術者教育の向上を進める。CPD(技術者継続教育)事業の推進に協力する。引き続き森林・林業技術者教育の動向について発信するとともにJABEEの普及に努める。
- (15)他学会との連携:各連携学会(北方森林学会,東北森林科学会,関東森林学会,中部森林学会,応用森林学会,九州森林学会)大会を共催し,役員の派遣を通じた交流を行う。「日本森林学会と日本木材学会との交流に関する覚書」に基づき,日本木材学会と交流する。また,日本木材学会・土木学会とともに「木材の利用拡大に関する横断的研究会」を運営する。日本農学会の運営に協力する。
- (16)学術シンポジウム等の開催・広報:他学会・外部機関との交流を含め活動する。第126回日本森林学会大会での公開シンポジウムの準備を進める。
- (17)国際学術交流の推進:東アジアをはじめとする諸外国との国際的学術交流を進める。
- (18)日本学術会議等への協力・連携:日本学術会議および森林・木材・環境アカデミーの活動に協力する。
- (19)各種補助金の申請:科学研究費補助金研究成果公開促進費の「国際情報発信強化(B)」および「研究成果公開発表(B)」に応募申請する。
- (20)他機関等からの賞,奨励金等の候補の推薦:ウェブサイト等により公募し,候補者を推薦する。
- (21)学会運営の改善:財政の健全化への取組を継続し,電子メールを活用し,会議費や通信費を節約する。また,林業遺産選定委員会およびプログラム編成委員会,社会連携委員会の設置による新たな関連業務の分担を開始する。
- (22)100周年記念事業:以下の100周年記念事業を実施する。1)2014年3月27日に一般社団法人日本森林学会・公益社団法人国土緑化推進機構主催 日本森林学会100周年事業・国際森林デー記念 国際公開シンポジウム「森林と人類の未来」を行う。2)同28日に記念式典を第125回大会会場で行い,農林水産大臣,埼玉県知事等の来賓挨拶,表彰を行う。3)同28日に,男女共同参画関連企画100周年記念特別セッションを行う。4)『教養としての森林学』を記念出版する。5)記念式典において林業遺産の認定証の交付を行う。6)記念品としてオリジナル絵はがき等を作成する。7)125回大会会場で100周年記念展示を行う。8)特設のウェブサイト

設け、広報、申込み受付、バナー広告などを実施する。9)協賛企業、賛同企業を募る。

(23) **林業遺産の選定**:2014 年度の林業遺産候補の推薦公募を行い、審議・選定活動を行う。

(24) **中等教育との連携**:第 125 回日本森林学会大会において高校生のポスター発表を実施し、良かった点や課題等を整理する。第 126 回大会における高校生ポスター発表の実現に向けて活動する。行動計画に基づき、他の連携の可能性を議論し、計画する。

(25) **名簿の発行**:2014 年度版名簿を発行する。

(26) **一般社団法人としての対応**:役員の変更に伴い、理事・監事を修正登記する。